

01

7月2024

## 種を蒔くということ—

by NCM2 CHOIR

全4page



今年の私達の教会の目標は「種蒔き」です。みなさん経験済みでしょうが、私達、数われると、このすばらしさを知らない人達に、ぜひ、伝えたいと思います。伝道は種蒔きです。その種蒔きはどのようにしたらよいのか、いろいろ試行錯誤をしますね。

親しいクリスチャンの友人が彼女の師である裏千家茶道の松井雍子先生のお便りを見せてくださいました。それは松井先生の90歳のお誕生日に出席された方々へのお便りでした。あまりにも素晴らしい姿勢に松井先生に許可を得たので、ここに掲載させていただきます。ノンクリスチャンも多いお弟子さん達への素晴らしい種蒔きです。

以下のお便りがこの写真にある彼女の墨絵のカードに挟まれていました。キリストの香りそのもののお便りでした。

「しかし、今の私があるのは、ただひとえにあふるるほどに注がれた神の恵みと憐れみのおかげです。第1コリント15：10」

皆さま、私の90歳の誕生日をこのようにお祝いくださって心からお礼をもうしあげます。

私は中国天津で4人兄弟の末っ子として生まれ、父の急死で7歳のときに帰日しました。その奈良県五條市の教会で、18歳のとき、洗礼を受け、夫との出会いもそこでした。1964年長女が4歳のとき、渡米しました。アメリカでの最初の生活は週6日1時間90セントで働き、1967年にカリフォルニアのサリナス、現在の農場をスタートし、菊→ばら→蘭と栽培してきまして、現在夫死亡後、長女夫妻がついでくれています。

私は生来の病弱でいつもどこか痛いか、病んでいる子供でした。日本では喘息、赤痢、アメリカでは扁桃腺、ヘルニア、盲腸、乳がんの手術、骨折は手首、足首、まったく病気の問屋さんと言われていました。仕事の方は順調な売れ行きも、輸入の安い花による苦しいこと、ユニオン問題他様々の困難もありましたが、その間、夕食を作って、ナイトスクールの英語、また月一度のお茶の稽古のほか、油絵、書道など、楽しむことができました。

これはいつもお守りくださっている神の御愛、家族の助け、友人の方々の御親切な祈りよっての恵みだと感謝いっぱいです。この誕生日の私の強い願いと祈りは「愛するあなたが滅びることなく真理を悟り、神の愛を受けられることです」

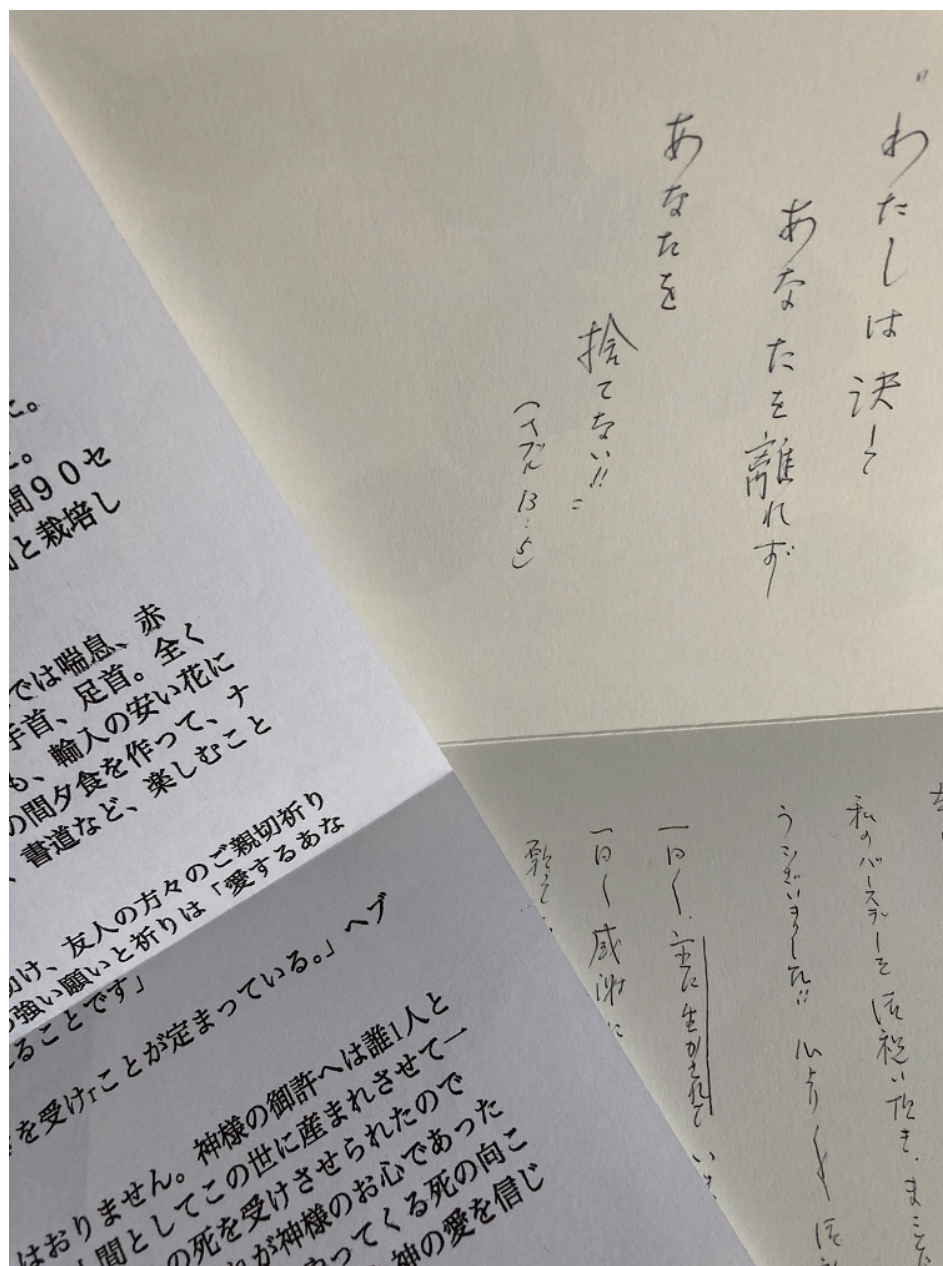
聖書に「人は一度死ぬことと死んだあと、裁きをうけることが定まっている。ヘブル9：27」とあります。

人は生まれてから誰一人として罪を犯さない人はおりません。神様の御許へは誰一人としていくことができないので、神様はその一人子を人間としてこの世に生まれさせて一切の人間の罪をそのお独りに負わせて全人類の身代わりの死を受けさせられたのです。

それで終わりならば美しい物語の終わりです。しかしこれが神様のお心であったこととしての証拠として復活なさいました。私たちには100パーセントやって来る死の向こうにある天国をそれによって固く信じられるのです。このたしかな神の愛を信じ受け入れてくださいませ。心から祈っています。

重ねてあつくお礼をもうしあげます。

松井雍子



このお便りのプリントはご自分の描かれたカードの中に入っていました。

そのカードには

「わたしは決してあなたを離れず、あなたをすてない」へブル13:5

1日1日主に生かされています。

1日1日感謝にあふれて生かされて参りたいと願っております。

と手書きでした。

彼女の生きざまのままが種まきですね。私達もそんなものでありたいですね。

竹下弘美

註：ご主人の故アンディ松井氏は世界一の蘭栽培者として知られ、次女のキャシー松井はアメリカの経済学者として「ウーマノミクス」という言葉を提唱したことで著名



折尾クリスチャンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

メール oriochurch@outlook.jp

電話&FAX 093-692-9200 (9:00~13:00) URL <http://www.oriochristianchurch.net>